



9月1日は防災の日 みんなで防災訓練へ！

防災課

わが国では、毎年のように地震や台風等の自然災害が発生し、さらに近年では局地的大雨や土砂災害、河川の氾濫等による被害も多発しています。

昨年7月には、梅雨前線及び台風第3号に伴う大雨により、九州北部を中心に、全国各地で死者42名、行方不明者2名の人的被害が発生しました。(平成30年1月17日現在)

今年も台風7号と梅雨前線の影響で、西日本を中心に甚大な被害をもたらしています。

また、今年の6月に発生した、大阪府北部を震源とする地震では、最大震度6弱を観測しました。これにより

死者4名、重傷・軽傷合わせて負傷者419名の人的被害が生じました。(平成30年7月5日現在)

日本では震度5強以上の地震が、7年連続で発生しています。近い将来には、首都直下地震や南海トラフ巨大地震が発生する切迫性も指摘されています。

さらには、鹿児島県の霧島山や桜島では3月以降、噴火活動が活発化し、爆発的噴火が複数回にわたり観測されました。この他にも警戒が必要な火山があり、噴石の飛来や火山性地震への注意が必要です。

竜巻等突風もほぼ毎月のように発生しており、昨年も複数回、人的・物的被害が確認されました。

防災訓練に参加して習得しよう！

<消火器の使用方法>

消火器は初期消火に有効です。
正しい使用方法を覚えましょう！



※火の根元を狙い、手前からほうきで掃くように消火剤を放射しましょう。

<応急救護の方法>

応急救護の方法について学びましょう！

消防署等で行われる救命講習会では軽いけがの処置をはじめAEDを使用した心肺蘇生法について学ぶことができます



<安否情報の確認方法>

例えば『災害伝言ダイヤル171』

毎月1、15日や防災週間などで体験利用できるので使い方を確認しましょう！



<地域住民等で協力して行う救出方法を学ぶ>

大規模災害時には、119番通報が殺到し、消防車や救急車がすぐに現場に向かえない場合も多々あります。地域のみんで協力し合って救出できるようにしましょう！



自然災害に対し、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが正しい知識を身につけ、いざというときに落ち着いて的確な対処行動をとることが重要です。災害に対する備えは、日ごろの防災意識や防災訓練の体験によって培われますので、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティ等で行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験等、実践を踏まえた経験をすることにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身に

つけることができます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」を中心に防災訓練が行われますので、積極的に参加し、“いざ”という時に対応できる力を身につけましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部 防災課 崎谷
TEL: 03-5253-7525